

令和4年度第7回千曲市教育委員会定例会会議録（要約）

1. 日 時

令和4年10月26日（水）午前9時00分から午前10時30分

2. 場 所

千曲市役所 302会議室

3. 会議日程

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 提出議案
4. 報告事項
5. その他
6. 閉会

4. 議 題

○議 案

議案第22号 千曲市教育振興審議会委員の委嘱について

議案第23号 令和4年度（9月補正）教育施設工事・修繕計画調書について

○報 告

専決第4号 【非公開】職員の処分について

報告第31号 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

報告第32号 教育長、部・課長報告について

報告第33号 行事の共催・後援について

報告第34号 11月の各課の行事予定について

5. その他

（1）次回定例会の開催について

（2）その他

6. 出席者

○委 員

小松信美教育長 坂本孝夫職務代理者 中村洋一委員 宮入文雄委員

松田祐子委員 新海敦子委員

○教育委員会担当部局

教育部長、文化創造担当部長（歴史文化財センター所長事務扱い）、
教育総務課長、生涯学習課長、スポーツ振興課長、文化課長、
第一学校給食センター、第二学校給食センター所長、総務係長、総務係主任

1. 開会 教育部長

2. 教育長あいさつ 教育長

3. 提出議案 (教育長進行)

【議案第22号】 千曲市教育振興審議会委員の委嘱について

教育総務課長 一資料に基づき説明—
〈異議なし〉

【議案第22号】 令和4年度（9月補正）教育施設工事・修繕計画調書について

文化課長 一資料に基づき説明—
〈異議なし〉

4. 報告事項

【専決第4号】 【非公開】職員の処分について

教育部長 一資料に基づき説明—

【報告第31号】 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

教育総務課長 一資料に基づき説明—
委員

小学校の国語で「話し合いの様子を描写した出題の中で、発言者の意図を理解することに課題があります。」とあるが、具体的な場面が浮かんで来ないが、こういう表現にするのか、あるいは文書理解に難があるという表現にするか、もう少しわかりやすくした方が良いのでは。

教育総務課長 もう少し、かみ砕いた表現にできないか検討します。

教育長 問題文を見ればわかりますが、文章の中の話し合いの場面を文章にしているのですが、発言者の言っていることが正しく理解できていないということです。

委員 千曲市は、学力調査の結果を分析して、授業改善に充てると言うことは非常に良いことだと思いますので続けて行ってもらいたい。

委員 中学3年の数学のところに、「事象を数学的解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題があります。」とありますが、この表現では、何を言っているのか分からない。理解できる人は少ないと思います。

教育長 数学的な解釈とか、数学的な説明とか、そういうようなところで「一体どういうこと」となるのかもしれませんが。

教育総務課長 来年に向け、課題とさせていただきます。

委員 もう一点、3ページの「家庭学習週間」ですが、「学校の授業以外に、平日1時間以上勉強していますか」との設問がありますが、6年生は1時間でも良いと思いますが、中学3年生に対して1時間勉強したかというのはデータとして重要なのかどうか。中学3年生ぐらいになったら、小学校6年生と同じ勉強時間ではまずいと思いますが、この設問はどうなのでしょう。1時間以上勉強をするのが、中学3年生で70%、小学校6年生で56%。全国平均と比べてどうかとのことですが、家庭学習の時間は小学6年生と、中学3年生では、絶対に違う訳で、アンケートを取る基準はどういう質問になっていますか。

教育総務課長 市報への掲載は簡略化してありますが、実際の設問の内容としましては、「学校の授業以外に普段、月曜日から金曜日の1日当たりどれくらいの勉強（学習塾、家庭教師、インターネットで学ぶ時間も含む）をしていますか。1時間以上・・・」という設問になっています。

委員	データとして、もし2時間以上と質問したら、何%になるのか。
教育長	国で作成した問題ですので、多分、統計上の処理とか色々なことを考えながら、設問はしていると思います。
教育部長	逆に言うと、1時間もやらない子がどの程度いる。ハードルを下げているといった見方もできます。
委員	マーケティングでもそうですが、どういう事実を焙り出そうとするかで、説明が変わってくる。部長がおっしゃる通りであれば、1時間もやらない中学3年生が3割もいるということですね。
委員	他県では、事前に学力調査に向けた勉強をさせたとのことだが、上位の県では、なるべく上位を目指してということになってしまう。学力テストをあまり好ましく思わない人達もいますので、千曲市としては今後の対応として、各学校で学力調査をして分析をする。それから学力向上推進委員会で分析をして授業改善に充てる。そのことを強調してやっていると言うことをアピールした方が良いと思います。
教育長	わかりました。
委員	全国学力調査については賛否両論あり、反対する方も多い。全国で約4割が学力テストの事前対応をしているという調査結果が出たりしています。千曲市では学力向上に向けた授業改善学習指導に役立てるためと書いてありますが、構造的にはこのテストで良い点を取れるようにやっているということ。究極的には、このテストを目標に学校教育を進めているというところがある。先ほどの質問の、2時間、3時間、4時間以上勉強をやるようなことがあるとすれば、市の調査としてやったら良いと思います。提言とすれば、千曲市の学力向上推進委員会で、もう少し知りたいところ、手の届かないようなところを調査するというのも一つではないかと思います。
委員	千曲市が、一つの指標である全国学力テストをどの様に捉えて、子ども達をどういう方向に導いていくのか、その視点で全国的なレベルに押し上げるとか、他県に追いつけ、追い越せとか、そういう次元では無く、千曲市の子どもの実態をしっかりと把握したうえで、どういう風に子ども達を千曲市として教育して、学ばせていくのかというところで、調査、研究をしていただきたい。市報に掲載する文面の4行目のところに「教育活動の一側面であることに留意してご覧ください。」という文言を入れていただいておりますので、あくまでも学力テストありきで教育活動をしていくのでは無いということを、学校の先生方にも、保護者の方にも広めていただきたいと思います。もう一点、家庭学習の件に関して、1時間以上勉強をしている子と、1時間未満の子どももいるということで、1時間以内の子どもは、これも千曲市独自で良いと思いますが、何故1時間も満たない学習時間しか確保できないのか、環境的に難しいのか、それとも、能力的に出されている課題が合っていないために、上手く学習にはまらないのか、その辺のところを精査していかないと実質的な改善が認められないと思います。もう一つ、テレビゲームに関する調査ですが、オンラインゲーム、YouTube等の視聴も含めての調査になっていますか。
教育総務課長	テレビゲームという内容は、コンピューター・携帯式・スマートフォンのゲームとなっています。
委員	YouTubeの視聴等は。
教育長	あくまでもゲームになります。
委員	今は、ゲームよりYouTubeの視聴の方がかなり多いので、文科省はこれで調査しているので、その辺のところも実態調査として、どこかに加えてい

教育長

く必要があると思いますので、そのことも視野に入れていただきたいと思います。

来年度の分析等々に反映していきたいと思います。教育委員会としては、この結果の数字だけが独り歩きしてしまう危険性がありますので、数字では無く、子ども達にどういう力を付けたら良いのか、そのためには、授業改善をしていくというスタンスでこれからもやっていきたいと思っています。先日、学校訪問した際、ICT の活用が進んでいて、黒板半分がスクリーン、黒板半分で板書をしていく。その様な教室がほとんど多くなっている。板書計画が雑になってきている。ただ、メモ的にチョークで書いているだけ。それから、Q-U の結果を見ていきますとコロナ禍の影響もありますが、4つのブロックがQ-Uの結果出てくるのですが、一番右上の満足群、先生も生徒もこの学級とても良いですよというグループ、そこに固まって入ってきている学級が散見される。おかしいなと。こんなはずないと。普通の学級であれば、4つのブロックに色々な子ども達がいて、まとまった学級になるべきはずなのですが、満足群だけに固まっていて、一見、非常に良いように思えるのですが、逆に子ども達の気持ちが先生の気持ちに寄り添っていつてしまう。先生に逆らわないような子どもになってしまう。その様な実態が見受けられる。校長会を通じて、学級経営を一体どうしていけば良いのか、それが一番の肝だということは言っている。色々な子がいて、そしてお互いに認め合える、まとまりのある学級。これが無いと、どんなに指導が上手くても学力は伸びません。子ども達がお互いに切磋琢磨しながら、認め合いながら友達の考えを受け入れ、相乗効果で理解していく。こういう学級でないと、相対的な学力は育っていかない。学級経営を大事にしてくださいと校長会でも言っています。

【報告第32号】 教育長、部・課長報告について

教育長

ー資料に基づき説明ー

委員

屋代公民館の建て替えと副館長の減員等について、進捗状況をお聞きしたい。

生涯学習課長

屋代公民館の建て替えですが、屋代公民館はかなり老朽化しているため、建て替えの時期に差し掛かっているということで提案いたしました。現在の場所に建て替える他に、屋代公民館管区の中心に建て替えることを検討しています。まずは、審議員に現在こういう話がありますと説明させていただきました。次に、副館長の減員ですが、現在、屋代公民館は、館長1名、副館長3名で公民館の運営をしています。他の公民館では、副館長は1名、もしくはいないという状況です。他の公民館の場合は、副館長を経験してから館長になるというシステムになっていますが、屋代公民館は、副館長が館長になるというシステムになっていません。副館長が地域との繋ぎ役ということで3名としていますが、実際には公民館活動に出席されないこともありますので、他の公民館と同じシステムにしていきたいということを審議会に提案させていただきました。今年度末に1名任期を迎えますので、今年度1名減員をしまして、来年度は2名ということをご提案いたしまして、審議員からはご同意をいただいたという状況です。

委員

屋代と雨宮と森と倉科が含まれている。今までは屋代以外は3名選んでいる。その辺のバランスをどうするのか。減員するのは良いと思いますが、それを考えていかないと地域の方達の理解が得られないのではないかと。

生涯学習課長

そこは私どもでも心配していた点です。各地域とどう繋がりを持っていくかということが問題になってくる。その点につきましては、審議会の委員

	に区長に入っていると思います。それと併せて、分館長との繋がりを今まで以上に持ちまして、屋代公民館の館内がバラバラにならないような形で、公民館活動を進めさせていければと考えております。
委員	千曲川ハーフマラソンの参加者の状況について、現時点で何名の申し込みがありますか。
スポーツ振興課長 委員	申し込みは10月2日に締めまして、現在、1,485名の参加となっています。稲荷山地区は特殊な地区で、他に類を見ない地区です。補修工事のみに毎年お金を掛けている感じがしますが、10月15日に第2回ワークショップがありましたが、何か良い意見が出ましたか。もう一点、22日に信州歴史的まちなみフォーラムが安曇野でありましたが、そこに千曲市の学芸員がパネラーとして出席され、とても稲荷山が注目されていて、嬉しく感じました。どのような話をして、どのようなことをやったのか、稲荷山の街を活気づかせるためにはどうしたら良いのか、そちらの方も考えていった方が良いと思います。
文化創造担当部長	第2回ワークショップの状況としましては、工学院大学の学生7名にお手伝いただき、先生2名と稲荷山の街並みをどのように造って行くかというテーマを掲げて、稲荷山の風景を、まずは、地元の皆さんと一緒に考えましょうといったところから始めました。30名程の参加があり4つのテーブルに別れて、街並みを考える。例えば外壁の色、板塀が必要かどうかなど、参加者から意見を聞くなどし、いかに調和していったら良いかというのは、これから皆さんで考えていきたいと思います。1月下旬頃にもう1回開催する予定です。
	次に、安曇野の信州歴史的まちなみフォーラムですが、学芸員が出席し、1番最初に修理、修景事業に取り組んだ事例を発表しまして、他の市町村の参加者から是非、参考にしたいとのことで、質問、希望、要望がありました。
	今年度末に、来年度に向けて国庫補助の申請をしますが、年々修理、修景事業の補助金が削られる傾向があり、全額、市の一般財源で取り組むということも考えながら、やはり、特定財源の国交補助金、県補助金を獲得できるようこれからも取り組んでいきたいと考えております。
委員	松田邸の開館に向けた現在の状況は。
文化創造担当部長	松田邸の資料の保存整備事業ですが、今年度は、外構工事と防火水槽の設置も含めた駐車場の整備を予定しており、現在、入札の手続きに入っています。松田邸は、主に古文書などの展示を中心とした「大人の博物館」というコンセプトで、来年の3月末位に博物館として開館できるよう取り組んでいます。
委員	「日本遺産フェスティバルin下関」とありますが、部長が参加されますか。日本遺産制度ができてから6年ということですが、毎年開催されるイベントですか。
文化創造担当部長	日本遺産に認定された市町村が毎年1回、持ち回りでサミットという形で実施しています。地元の農産物を販売するなど、観光宣伝も兼ねてやっています。今回、私は別件で行かれませんが、日本遺産推進室の職員、農林課の職員、観光課の職員、歴史文化財センターの職員と、関係の5部局の職員7名で市の宣伝を兼ねて参加する予定です。

【報告第33号】 行事の共催・後援について
〈質疑なし〉

【報告第34号】 1 1月の各課の行事予定について

総務係長
委員

－資料に基づき説明－

マスク生活が、子どもに与える影響が非常に大きいと感じています。友達の笑顔も見られない、新鮮な空気も吸えない。運動会では、大きな声で応援することもできない。子ども達に、顔の見える世界を早く取り戻してあげたい。外ではマスクを取っても良いのではないかな。

教育長

外ではマスクを取っても良いとは言っています。この場面では、外しても良いと言っているのですが、取りたがらないのが現状で苦慮しています。

委員

マスク外そう運動が広まってきていまして、保護者の間では署名活動が始まっていると聞いています。

教育長

保護者にも色々な考え方をお持ちの方がおります。マスクを外した方が良いと言う親もいますし、外さないで欲しいと言う親もいます。みんながみんなそうでは無いというところが非常に難しい。できるだけ、その場面、場面によって顔が見える状況を増やしていけたらと思います。

5. その他

【次回定例会の開催について】

教育長

－次回定例会日程について確認－

【その他】

6. 閉会 教育部長